

## ◆学習力育成テストについて

45年生は2週間に1回=授業2回分の復習テストとして全国の日能研で実施しています。

6年生は週に1回=授業1回分の復習テストとして全国の日能研で実施しています。

※全国公開模試のある週はテストの送付はありません。

- ・国語と算数 基礎問題50点 or 応用問題50点と共通問題100点の150点満点
- ・理科と社会 共通問題70点と応用問題30点の100点満点
- ・国算2教科で300点満点、国算理3教科で400点満点、国算理社4教科で500点満点
- ・受験科目数は自由に選択可能(2科目受講でも3科目4科目の受験も可能です)

学習力育成テストの大まかな内容は以下の通りとなります。

4・5年生は2週間に1回、6年生は1週間に1回の、それも範囲も決まったテストですので、対象となる単元の中身は深く細かい部分にまで及びます。(正答率が10%を下回る出題もあります)

そのような出題特性から、対象となる単元の得手不得手で大きく結果が変わるものもあり、毎回の結果は必ずしも受験者のその時の実力を反映しているものではありません。

結果については、テスト範囲となった単元がよく理解出来たのか、基本はしっかりと理解出来たのか、という見方をしていただけすると、一喜一憂されることはありません。

このテストの肝要なところは、基礎問題や共通問題で70%を超える正答率の問題で自分が間違えた箇所を振り返ることが出来るかどうか、30%に満たない正答率の問題は振り返らずに次の学習を進めていくことに注力出来るかどうか、です。皆が確実に得点している基本的な問題はしっかりと振り返り、今の自分の力では難し過ぎる問題=他の受験者と差をつける問題は今の段階では振り返らずに次のテストに向けた学習を優先する、時間と力をメリハリつけて有効に使えるかどうかです。

テストの結果を必要以上に重く受け止めず「同じ失敗をしないように次のテストを頑張ろう」という気持ちで1回1回のテストにしっかりと向き合っていただければと思います。

テスト受験者には、送付時にB4サイズの別紙「【学習力育成テスト】自宅受験での注意事項」を同封いたしますので、取り組む前に必ずご一読いただきますよう、お願ひいたします。